

ESPERANZA

三田西陵高校 24 回生 2016.6.24 発行 No.5

あなたは西陵祭で成長しましたか

楽しみにしていた、また初めてで不安に感じていた一大行事が終わりました。私達職員や保護者の方は、成長する 24 回生を発見することができました。この成長を学校祭だけで止めず、次の課題に活かしてほしいと願っています。その姿を振り返ってみましょう。

生徒の感想

〔 1 組 〕

叫んで喜んだあの日を私は一生忘れないだろう。西陵祭二日目の最後。装飾部門審査結果発表のとき、「1 年 1 組」という言葉を聞いて、私は握っていた手の緊張が解けた。それと同時に、1 組の笑顔を見れば、まぶしいライトが照らした。あのとき、誰もが頑張っていた。よかったと思ったに違いない。

私には西陵祭が始まるまでの期間、驚いたことがある。それは自分自身の成長だ。人前に出るのが苦手の私が、気づけばみんなの中心にいたように思う。みんなに指示を出していた自分に成長を感じた。不安から始まったモザイクアート。途中で失敗したり、疲れて投げ出す人もいた。しかし、それを補う人もいた。みんなで支え合い、励まし合って完成したアートは、どの作品より輝いて見えた。これからも助け合えるクラスでありたいと思った。



文字通り百花陵乱

〔 2 組 〕

西陵祭が終わってみて、私の一番思い出に残ったのは、文化の部のみんなで作り上げたつまようじアートです。この企画が決まった時、初めてだったので、どんなものか分からなかったけれど、いざ始めてみるとすごく大変でした。何万本ものようじに色をつけて刺したり、大きな板に 1 cm マスをかいたりなど、細かい作業がとても多く、みんな完成するのか不安でした。多分、どのクラスよりも時間をかけた作品だと思います。その分、すごくきれいな「ゴッホのひまわり」ができました。賞はとれなかったけれど、

私の中では一番です。そして 1 年 2 組の絆が更に深まった気がします。

高校最初の西陵祭、本当にいい思い出となりました。

〔 3 組 〕

合唱は「テンポの速いアニソンは選曲ミスだな」と言われ、声をそろえる事だけに夢中になった。本選では勝てなかったけれど、何回か舞台の上まで皆のどよめきが聞こえた時は、賞を貰うのと同じ喜びを感じた。ピアノの伴奏や指揮やパートで頑張った人がいてよかったと思う。3 組独自のテーマでクラスアピールも展示も統一し、良いものができた。また先輩たちの劇を見てジャンルもそれぞれで、演技に感動し尊敬した。

体育祭のリレーでは、みんなの声援に励まされて走って全校優勝できた。メンバーにも感謝でいっぱいです。部活動行進で初めて着たユニホームも嬉しかった。クラスがもっと仲良くなれた充実した三日間だった。来年も質の高い西陵祭にしたい。

〔 4 組 〕

最初は何をしたらいいのか、ピタゴラ装置が完成できるのか心配だったけれど、放課後や休日など、みんなで集まり協力できたと思います。それぞれが何をしたらいいのか考える中で、装置だけでは教室がさみしいという意見が出ました。少しでもお花畑に近づけるために、画用紙で作った甲斐があって、きれいに飾ることができました。装置は計画通り完成しませんでした。試行錯誤し、ようやく成功したときは達成感がありました。当日もたくさんの人が見に来て下さっていたので、とても嬉しかったです。時々失敗し、微調整も繰り返しながら楽しく過ごすことができました。

苦労した部分はありましたが、協力して素晴らしいピタゴラ装置を作ることが出来たと思います。

〔 5 組 〕

僕はこの西陵祭の合唱と展示において、頑張ることができたと思いました。

なぜなら、合唱や展示はリレーなどの運動とは違い、才能によって結果が決まらないからです。リレーなどは足の速さによってほぼ決まってしまう。けれど合唱や展示は頑張れば頑張るだけ、良いものが出来上がります。

今回はみんなが部活動や習い事がある中で、長い時間をかけたから最優秀賞をとれたのだと思いました。2、3 年生になっても頑張ります。



個性が織りなす光の芸術

〔 6 組 〕

初めての西陵祭・体育の部は充分すぎる結果を残せて、とても嬉しかった。2・3 年の先輩方とも力を合わせることができたという点でも、とても嬉しかった。暑い中座って応援するのは少し辛かったけど、みんなが一生懸命走ったり演技をしたりしている姿を見ていると、自分も頑張ろうという気になったし、とても楽しかった。文化の部は何も賞が獲れなかったけど、ただひたすら面白かったし、クラスの展示でも良いものができたと思う。来年は文化の部でも、賞も狙って今年以上に頑張りたいと思った。



飛翔せよ 24 回生

1 学期末は将来を決める時

いよいよ 1 学期も終盤を迎えます。来年の進路、具体的に言うと理系・文系どちらに進むのか、将来の目標を決める時期です。また 1 学期の評価も出ます。結果は日々の学習の積み重ねです。成長を実感できた生徒も、奮起しなければならない生徒も、現実を謙虚に受けとめましょう。あまりに一喜一憂して、有頂天になったり、「ああ、もう駄目だ」といった困惑に巻き込まれてしまうのは良くありません。皆さんは合唱コンクール予選の講評で言われたことを覚えていますか。「これだけの合唱ができる君達が、初心を忘れてはあまりにも惜しい結果となる」という話でした。すべきことは小さなことから確実にしよう、してはいけないことはしない。この簡単なことを誠実に実践し、将来に繋がる成果を残して欲しい。

期末考査の日程

	7 月 1 日 金	7 月 4 日 月	7 月 5 日 火	7 月 6 日 水	7 月 7 日 木
1 限	数学 A	現代社会	数学 I	化学基礎	英語 I G
2 限	英語 I R	保健	国語総合 (現代文)	国語総合 (古典)	社会と情報
3 限			家庭基礎	英語会話	

遅刻・欠席をしないよう規則正しい生活をする

私物を持ち帰り、自宅の机も整理すること

【ためらわず直ぐ実行する者にこそ、よい結果は訪れる】